



We serve

IWATA LIONS CLUB REPORT

[2016.7~2017.6]



国際テーマ

WE SERVE (われわれは奉仕する)

334複合地区スローガン

100周年にウィ・サーブ つなげよう未来へ

334-C地区スローガン

広めよう奉仕の輪，繋げよう次の100年へ、愛と希望をのせて！

磐田ライオンズクラブ

スローガン

ライオンズクラブの原点を学ぼう

努力目標

地域に貢献

弱者に愛の手を

青少年の健全育成

2017 6

会長挨拶

短いようで長かった1年でしたが、何とか会長という責務を果たせたのではないかと思います。自己満足かも知れませんが経歴の浅い会員にとってライオンズとは何かをかなり理解して貰った年になったのではないかと思います。GMT・GLT委員会においては若手を中心にした勉強会、例会やアクティビティも、スローガン、努力目標に沿った内容を各委員長が取り上げてくれたお蔭で大変満足のいくものでした。

ライオンズクラブの原点と現状を肌で感じ、学んだという事は磐田ライオンズクラブの会員は皆立派なライオンマンになったという自信を持っていいのではないのでしょうか。次年度はいよいよ県内で3番目に60周年を迎えますが歴史と伝統に恥じない益々期待の出来るクラブになっていくでしょう。

今年度、年次大会においても青少年健全育成賞、会員増強賞、グッドスタンディング賞、ホームページ賞と4つの賞を受賞する事が出来ました。これらの賞は会員は勿論、事務局の伊藤さんまでの磐田ライオンズクラブの全員が一丸となって頑張ってくれた賜物です。益々磐田ライオンズクラブの底力の高さを感じます。会員の皆さんに多大な協力と努力をして貰った事、中村幹事、小林会計、伊藤事務局に助けて貰った事、若手ライオンの大活躍により予想以上の成果が挙げられた事、そして先輩ライオンのフォローも沢山頂き大過なく1年間を過ごせた事に感謝し御礼申し上げます。1年間本当に有難うございました。



会 長
L. 齋藤道夫

今年度も終わりが近づき、年度のはじめに約束いたしましたクラブ幹事の役割(クラブ会長と役員・理事をはじめ、全てのメンバーのパイプ役になる)を果たすことが出来たかどうか? これで良かったのかどうか? いろいろな思いがあります。

今年度のクラブスローガン「ライオンズクラブの原点を学ぼう」を基本に、例会の時間厳守に努めてまいりました。例会次第に時間を明記し、それに基づき進めてまいりましたが、途中からはメンバー全員が個々、時間配分を考えて協力していただくことが出来ました。ありがとうございました。また、努力目標の「地域に貢献」では継続的にライオンズパークの草刈りを実施し、「弱者に愛の手を」ではCN59記念事業で日本盲導犬総合センター・富士ハーネスへの寄付金贈呈に出向き、献眼登録・献血登録運動を都度実施し、「青少年の健全育成」では久しぶりの青少年書道コンクールを実施することができました。各委員会メンバーの皆様の努力に感謝申し上げます。

一つの事業をやり遂げるには、メンバー全員の協力が必要になります。今後もライオンズクラブの原点でありますメンバー全員による奉仕を心がけ、磐田ライオンズクラブがさらに前進できますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。



幹 事
L. 中村正夫

会計の仕事も残り1ヶ月となりました。何とかやってこれたのも、会員皆様の御協力があればこそと心より感謝申し上げます。今年度のスローガン「ライオンズの原点を学ぼう」努力目標である「地域に貢献、弱者に愛の手を、青少年の健全育成」は、CN59での盲導犬協会富士ハーネスへの寄付、例年恒例の草刈り、献血、復活した書道展、新規アクティビティのタグラグビーへのボール寄贈、鮫島海岸の清掃等々と、各委員会の活躍によりスムーズに行われ、会員の皆様よりお預かりしたお金を有意義な形で活用できたのではないかと思います。役員理事及び会員の皆さん1年間ご協力有難う御座いました。



会 計
L. 小林秀樹

ライオン・テマー
L. 磯部直樹

入会後二年半が過ぎ、少しライオンズにも慣れた頃、現会長のL. 齋藤道夫から次年度のライオンテマーを引き受けて欲しいとの打診が有り、テマーとして初めて理事会入りをしました。ようやくテマーの仕事・理事会の雰囲気にも慣れてきた頃、母親が大腿骨を骨折しまして、ライオンズの活動にも支障が出るかと思いましたが、皆様方に助けて頂きながら何とか一年間乗り越える事ができました。

テール・ツイスター
L. 鈴木安弘

齊藤会長からの甘いお誘いで不覚にも受けてしまったテールツイスター、L. 飛田紗有李のサポートのお陰で、何とか一年が経とうとしています。

三味線、ギター、合唱でご協力いただいたメンバー、ありがとうございました。ドネーションの言葉も十分に伝えられなく反省です。皆様の温かいお声掛け・ご協力、本当にありがとうございました。

会員会則接待諮問委員長
L.堀内 豊

早いもので今年も最後になりました。委員会活動も会員に助けられここまでこられまして、心よりお礼申し上げます。新会員の入会が、思っていたより数が伸びませんでした。入会式では、失礼なところがあった事をお詫び致します。でも、素晴らしいメンバーに恵まれた事が大変嬉しいです。会則については、家族会員会則の内規が難しく、次年度に申し送りました。至らぬ点が多かった事をお詫び申し上げます。

財務LCIF出席委員長
L.山田 史郎

まず、皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。財務についてはほぼほぼ準備理事会で固まり、実行を見守るという感覚でした。LCIFは会員各位への啓蒙ができず、反省しきりです。一日10円貯金をLCIFに送るという目的を持って臨んだ割には、意識の浅さを感じました。また、出席については、当日欠席の把握が難しく、例会終わりのテーブルの上の食事を見て、もったいないと何度思ったことか。課題の残る一年でした。次年度の本委員会の活躍を祈ります。

GMT・GLT委員長
L.鈴木 和男

高い目標数を課せられ重圧に押し潰されそうでメンバー各位には多大なお願いをしましたが5増5減、実質±0の結果でした。クラブでのワークショップ開催を強く要請され、例会を利用して3回実施することが出来、メンバーも真剣にアクティビティについて討議して頂きました。若手メンバー中心の勉強会も3回実施でき、細かい事もザックバランに質問できて理解が進んだと好評を戴きましたので次年度も継続して行くそうです。ご協力感謝いたします。

大会計画委員長
L.加藤 克巳

委員会として、メンバー間の親睦と楽しみを図ることを目標に、企画・実行をめざして一年間活動して参りました。8月の家族会(静岡市)・12月のクリスマス例会(ベリーダンス・ものまね)は、メンバー皆様いかがでしたでしょうか?6月のさよなら例会は、より一層の企画を考えています。お楽しみに!

この一年間メンバーはもとより委員会メンバーにも助けられどうにか会を進めることが出来ました。ご協力に感謝しますと共に、一年間ありがとうございました。

献眼・献腎・献血委員長
L.斉藤 伸

今年度は献眼献腎献血委員長を務めさせて頂きました。1年を通じての目標として、当クラブ内での会員の献眼登録率の増加を掲げ、当初の50%強から80%まで上げる事が出来ました。今年度の活動が、今後のクラブ会員全員登録の目標に向けて、一助となれば幸いです。

これもひとえに会員の皆様のご理解とご協力の賜物であり、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

環境福祉委員長
L.河原崎 誠

11月・3月・6月のライオンズパークの草刈り、5月の鮫島海岸清掃、担当例会を皆様の協力、助言を得て、どうか役割を果たすことができました。反省点として、「環境」関連に偏り、「福祉」関連については当初より予定もなく、担当者の負担増、他の事業等との実施時期の関係を考えると、二の足を踏んでしまいました。また、磐田LCが以前寄贈した物品の維持管理も気になります。

青少年YCEクエスト委員長
L.水谷 行秀

委員長・副委員長双方がほぼ初めての実行委員責任者です。何をどんな順序で行ったらいいのかなど、手探りで始めました。この委員会は初めてという委員も多く、それ故、新しい方法やアイディアなどを試しながら実行していききました。それが功を奏したのか結果として例年以上の成果につながりました。次年度の委員長は本年の副委員長。更なる成果を出してくれることでしょう。

アクティビティ・例会より

青少年育成書道コンクール

4年ぶりに行われた書道コンクール。前回の応募1,217点を目標に出来る範囲でチラシ作成などの手を尽くし、結果として23校より1,770点もの作品が集まりました。厳正な審査会を経て、市長賞3点などの賞を決定し、2月4日(土)5日(日)に磐田市文化振興センターにて全作品を掲示、5日には上位作品21点の表彰式を行いました。家族で来場される方が多く、受賞の間にはフラッシュの嵐、最後の受賞者全員での撮影時にはしばらくフラッシュが納まりませんでした。賞品の楯なども垢抜けたクリスタル製のものなどに一新。受賞者からも好評でした。受賞者の笑顔を見るとやって良かったという思いが湧いてきました。

全作品を掲示することにしたため準備も実は一苦労。考え抜いた方法にて準備を進めましたが、それでも当日使用許可を得ている9時から開場の11時まででギリギリ設営完了出来ました。何とか間に合わせることが出来たのも会員の皆様の協力のおかげです。ありがとうございました。

青少年YCEクエスト委員長 L.水谷 行秀



CN 59 日本盲導犬総合センターの視察・研修

4月2日、CN 59の記念事業を日本盲導犬総合センター“盲導犬の里 富士ハーネス”へ視察、研修、寄付金の贈呈に会員、ご家族合わせて32人にて実施しました。センター到着後寄付金の贈呈式を行い、その後全員で盲導犬デモンストレーションを見学。盲導犬の必要性、仕事や役割を目の当たりにし、金額は30万円と決して多くはありませんでしたが少しでも目の不自由な人の為に役立てた事、ライオンズクラブの会員である事を誇りに思ったのは私だけではなかったのではないのでしょうか。当日はあいにく曇り空で富士山の真下にながら雄大な姿を見る事は出来ませんでしたがPR犬に触れたり、生まれたばかりの可愛い赤ちゃんから引退した犬まで沢山の犬を見る事が出来、盲導犬に対しての理解も深まり心の中は清々しいものでした。又、センターには東京のライオンズクラブから送られたセンターの全景模型も展示されており、磐田ライオンズクラブも今期の努力目標に対して目の不自由な人の為に少し貢献できた1日でした。

昼食はまかいの牧場でジンギスカン料理に皆で舌鼓、アルコールも入り楽しいひと時を過ごす事が出来ました。帰路、白糸の滝に寄るとインドネシアのライオンズクラブの会員と一緒に写真に納まるという想定外の出来事も経験出来ました。ライオンズは世界共通、ライオンズクラブの会員で良かったと思える春の1日、皆さんお疲れ様でした。

会長 L. 齋藤 道夫



静岡産業大学の留学生と駿島海岸の清掃

5月20日(土)の駿島海岸清掃を、静岡産業大学の外国人留学生を中心に13名の参加を得て、総勢38名で行いました。また、昼食は、駿島公民館にて、ライオンズの女性会員を中心にカレー、サラダ、デザートを用意して頂き、留学生との懇親を深めました。駿島公民館、隣接の駐車場は、駿島自治会長の賛同を得て、利用が可能となりました。この海岸清掃は、以前に磐田南ライオンズクラブが実施していましたが、今後は磐田ライオンズクラブが継続して行く予定です。

環境福祉委員長 L. 河原崎 誠



いわた大祭り 献血運動



4月29日(土)にて、今年度もいわた大祭りにあわせて献血運動を行いました。当日は途中夕立に祟られ、あいにくの天気となりましたが、献血の受付87名、献血をお願いした方73名、総血液量29リットルと前年比20%弱の増量となり、微力ながら今年も良い奉仕活動ができたかと思えます。これもひとえに会長をはじめとする三役、並びにご参加頂いた29名もの会員の皆様のご尽力あつてのことです。改めて御礼申し上げます。

献眼献腎献血委員長 L. 斉藤 伸

新会員より一言

L. 堀井 園子

磐田に来て、周りの事が何も分からずにいて、会長の一言一言が胸に残り、今、私に何ができるか、何をすべきか模索中です。

L. 小笠 仁子

入会させて頂きましたこと、心より御礼と感謝申し上げます。生涯勉強と思っております。皆様の御指導とお力添えを頂きながら、残り少ない(?)ライオン生活、楽しみながらも、奉仕の心を忘れず精進してまいりたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

L. 栗田 耕志

2017年4月より磐田ライオンズクラブに入会させていただきました「くりたやすし」です。諸先輩方の培ってきた事を、しっかり学んで、皆様と共に楽しく社会貢献できるよう頑張りますので、ご指導よろしくお願いいたします。

L. 中筋 太

この度、磐田ライオンズクラブに入会させていただきました中筋太です。わからないことが多く、ご迷惑おかけすることも多いかと思いますが、クラブの皆様とのつながりを大事にし、奉仕活動に精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

PR情報委員長

L. 島 祐二

編集後記

皆様のご協力で何とか1年やってこれたと思います。取材をする中で、今年度は、献眼献腎献血委員長と青少年YCEクエスト委員長が活躍する姿が印象的でした。皆さん、お疲れ様でした。